

認知症に関する意識・意向調査及び  
認知症高齢者家族会等ヒアリングの実施結果について

1 認知症に関する意識・意向調査

(1) 目的

認知症に関する認識や理解、社会参加の機会、施策として望むこと等について、調査を実施して計画策定等の基礎資料とする。

(2) 調査概要

ア 調査対象者数

- ① 満 18 歳以上の区民 2,900 人（無作為抽出）
- ② 認知症の方やその家族 100 人  
（高齢者総合相談センターを通して調査を依頼）

イ 調査期間

令和 7 年 3 月 25 日（火） ～ 4 月 14 日（月）

ウ 調査方法

上記①は郵送で質問紙を配布し、上記②は個別に配布した。上記①②ともに郵送により回収したほか、インターネット経由でも回答できるよう専用サイトを設けた。

配布数		有効回答数	有効回答率
全 体	3,000 件	1,395 件	46.5%
18 歳以上区民	2,900 件	1,325 件	45.7%
認知症の方やそのご家族	100 件	70 件	70.0%

(3) 調査結果

資料 2 のとおり

## 2 認知症高齢者家族会等ヒアリング

### (1) 目的

認知症高齢者の介護の実情等について、ヒアリング形式で調査を実施して計画策定等の基礎資料とする。

### (2) ヒアリング概要

#### ア 対象団体

- ① 認知症高齢者家族会（3か所）
- ② 介護事業者（5か所：特別養護老人ホーム、認知症グループホーム、訪問看護、訪問介護、通所介護）

#### イ 実施期間

令和7年4月16日（水） ～ 5月22日（木）

#### ウ ヒアリング項目

- ① 認知症のある家族（利用者）が楽しみにしていることやチャレンジしていること
- ② 認知症のある家族（利用者）を介護・支援する上での困りごと
- ③ 認知症のある家族（利用者）を介護・支援する上で工夫していること
- ④ 地域や行政に対する期待や要望

### (3) ヒアリング結果

資料3のとおり